

とちぎ特殊詐欺被害防止 キャンペーン実施中

夫の大切な保険金が…

夫の初盆の準備を、そろそろしなければならぬ。そんなことをぼんやりと考えながらお昼のワイドショーを見ているときに、自宅の固定電話が鳴った。息子からかしら…初盆の相談をしたいな。そう思いながら出た電話口で、男性警察官が私の氏名を確認してきた。警察官が私になんの用事があるのだろうか。息子が事故にあったのか。普段の生活で感じるこない不安が、頭の中に一気に広がった。私の動揺を察したのか、電話口の警察官は落ち着いて聞くよう声をかけてくれた。電話の内容は、私の銀行口座が海外の不正取引に使用されており、凍結され預貯金を下ろせなくなる可能性があるという事だった。

普段使っている口座じゃなくて良かった。伝えられた銀行口座には、夫の他界で支払われた保険金が振り込まれていたが、生活費は別の銀行口座を使っていたからだ。少しの間、口座が使えなくても毎日の生活には困らない。ただ、まとまった金額を預けている口座なので、それは心配になった。ゆくゆくは、自分の介護費用や孫への贈り物などに使おうと思っていたからだ。

警察官の男性は、キャッシュ

カードと暗証番号の確認ができれば口座の凍結解除ができると教えてくれた。すぐに警察の人が自宅まで来てくれるらしいので、キャッシュカードを用意し、暗証番号をメモ用紙に書いて待っていて欲しいとのことだった。家に来てくれるのはありがたい。このごろは自家用車を運転するのもひと苦労だ。

10分後に、背広を着た若い男性の警察官が自宅にやってきた。警察官は、ドラマでよくみる手帳のようなものをチラッ

て、指示通り押印した。

10日間は封筒を明けずに保管しておくようにとのことだった。普段使っていない口座なので大丈夫ですと、若い警察官へ伝え、念のためにこのことは誰にも言ってはいいと言われた。なんでも、二次被害を防ぐためらしい。うっかり家族に言って大きな事件に発展するケースもあるそうだ。息子や孫に何かあったら困る。これで口座も凍結解除されるのだから、誰にも言わずにキャッシュカードの入った封筒もしまっておこう。

しばらくして、孫のランドセルを買ってあげられることになった。せっかくだから良いものを買ってあげたい。そう、夫の保険金を使おう。きっと夫も喜んでくれることだろう。

キャッシュカードが入っている封筒を開けると、私の知っているカードは入っていなかった。キャッシュカードがない。慌てて通帳を持って銀行で記帳すると、残高は0円だった。近くにいた銀行員の女性にお金が無くなっていると言った。きっと何かの間違いだ。その後、銀行員が呼んだ警察に、事情をきかれた。そこで初めて、私はあの電話も警察官も偽物で、お金を騙し取られたことを知った。

※本文はいくつかの事例を基に構成されています。

キャッシュカード 詐欺盗に注意

その電話、
特殊詐欺だぞ！
全員注意



キャンペーンサイトはこちら▶

私たちは、特殊詐欺を許しません。
とちぎ特殊詐欺被害防止キャンペーンを応援しています。



足利銀行



栃木銀行



横浜正金銀行



びゅうフォレスト喜連川



地熱の家 ジーナホーム(株)



トヨタ カローラ栃木



ホテルニューオタニ



郵便局

下野新聞下野会

栃木県信用金庫協会

(一社) 栃木県銀行協会

大和証券株式会社 宇都宮支店

株式会社インフォ

株式会社 栃木放送

企画・紙面監修／



TOCHIGI POLICE
栃木県警察

後援／栃木県教育委員会